

2022年11月9日

モルディブ国における太陽光発電とNAS蓄電池を用いた 脱炭素型海水淡水化システムの実証が、環境省の 「コ・イノベーションによる脱炭素技術創出・普及事業」に採択

日立造船株式会社が、環境省により公募された「コ・イノベーションによる脱炭素技術創出・普及事業」に対して提案した「モルディブ国における太陽光発電とNAS蓄電池を用いた脱炭素型海水淡水化システムの実証」が、このほど同事業に採択されました。

モルディブ共和国では、ディーゼル発電を利用した海水淡水化処理を行っていますが、カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの電力を利用した海水淡水化システムの導入を検討しています。本実証では、どの島でも得られる系統から独立した太陽光発電の電力のみを使用し、GHG排出なく逆浸透膜（RO膜）法による海水淡水化処理を行います。また、太陽光発電の余剰電力を蓄電池に蓄え、日射のない時は蓄電池より供給される電力にて海水淡水化し再生可能エネルギーの有効利用を行います。これら各種処理を通じて脱炭素化に貢献する技術の確立を目指します。

本件の概要は以下のとおりです。

1. 公募実施者：環境省（執行団体：公益財団法人地球環境センター）
2. 事業実施者：日立造船株式会社
3. 事業名：モルディブ国における太陽光発電とNAS蓄電池を用いた脱炭素型海水淡水化システムの実証
4. 実施期間：2022年10月～2024年1月末（予定）

当社は今後も海水淡水化・産業用水処理などの水事業を展開し、世界の水需要に貢献します。

■コ・イノベーションによる脱炭素技術創出・普及事業について

日本と相手国の協働を通じて、双方に裨益のあるイノベーション（コ・イノベーション）を創出することにより、相手国におけるエネルギー起源CO₂の排出抑制のために、相手国ごとの特性に応じた質の高い脱炭素技術のリノベーション及び実証を実施する事業に対し、環境省が補助金を交付する事業。

（終）